

(仮訳)

プレス・リリース

2026 年 2 月 25 日

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）は、最近の市場動向及び暗号資産に係る基準の的を絞ったレビューについて議論した。

- 国債レポ市場における脆弱性について議論。
- 銀行の暗号資産エクスポージャーに係る健全性基準の的を絞ったレビューの進捗について議論。
- 銀行監督者国際会議（ICBS）の開催日程及び開催地を公表。

バーゼル委は、2026 年 2 月 24-25 日にバーチャル会合を開催し、様々な取組みについて議論した。

金融安定の見通し

バーゼル委メンバーは、最近の市場動向及びグローバルな銀行システムの見通しについて意見交換を行った。

議論の一環として、バーゼル委は金融安定理事会（FSB）が最近公表した[報告書](#)を踏まえ、国債レポ市場における脆弱性について議論した。バーゼル委が最近最終化したカウンターパーティ信用リスク管理に関する[ガイドライン](#)には、銀行の証券金融取引や担保管理に関する事項が含まれている。バーゼル委は、監督当局及び銀行による当該ガイドラインの実施が、国債レポ市場における一部の脆弱性への対処に資することに合意した。バーゼル委は、当該ガイドラインの実施状況をモニタリングしていくことに合意した。

暗号資産

バーゼル委が[以前に](#)指摘したように、最近の暗号資産市場の動向を踏まえ、銀行の暗号資産エクスポージャーに係る健全性[基準](#)の的を絞った要素のレビューを迅速に進めている。バーゼル委はレビューの進捗を確認した。今年中にアップデートが提示される予定である。

実施状況

バーゼル委は、[市中協議](#)を経て、標準的手法によるオペレーショナル・リスクの

計測に関する技術的改訂を承認した。

また、マーケット・リスクの枠組みに関する FAQ への回答を承認した。これらの文書は3月に公表される予定である。

ICBS

バーゼル委は、次回の ICBS について、2026 年 9 月 30 日-10 月 1 日にインドネシアにおいて、インドネシア中央銀行及びインドネシア金融庁のホストのもとで開催することを公表した。ICBS に関する追加情報は追って提示される予定である。

その他

また、バーゼル委メンバーは、20 年間にわたりバーゼル委に貢献し、2022 年以降は事務局長を務めてきたニール・エショー氏に謝意を表した。同氏の任期は 2026 年 3 月末に終了する予定である。バーゼル委は同氏の多大な貢献に対して感謝の意を示した。